

三吉サッカースポーツ少年団

全日本少年サッカー3位入賞!!



第十四回全日本少年サッカー大会が、七月三十日から八月四日の六日間、東京よみうりランドサッカー場で開催され、全国七一二七チームの中から激戦を勝ち抜いてきた都道府県代表四十八チームが出場しました。予選リーグを順調に進み、決勝トーナメントに進出した三吉サッカースポーツ少年団は三位決定戦で奈良代表の大安寺西と対戦、全員サッカーで1対0で下し、二度目の出場で三位

の快挙を達成しました。また、技術力などが評価され、敢闘賞を受賞しました。

〈予選リーグ〉

第一戦

後半一挙4得点

三吉4(0-1-2)3屋島FC

(香川)

第二戦

粘りで引き分けに

三吉1(0-1-0)1明治北FC

(大分)

第三戦

大量得点で圧勝

三吉10(2-1-0)1義方FC

(鳥取)

第四戦

粘る水原振り切る

三吉6(2-1-1)3水原FC

(新潟)

第五戦

加茂5(2-1-1)2三吉

予選リーグ三勝一敗一分で

決勝トーナメントへ進出

〈決勝トーナメント〉

第一回戦

川内戦PKで勝ち

三吉1	延長	0-1	0-0	1-1	0-0
0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
PK 5-4					

1川内FC (鹿児島)

準々決勝

チャンス生かし快勝

三吉3(1-0-0)0光貞FC

(福岡)

準決勝

東日本勢でただ一チームベスト4に残った三吉だったが一点差で泣いた

高槻FC1(0-0-0)0三吉

(大阪)

三位決定戦

一点差のまま粘り勝ち

三吉1(0-0-0)0大安寺西

(奈良)

よく3位勝ち取った

和田仁一監督

「最後の力をふりしぼっての気力勝ちだった。欲を言えばきりがながい、よく3位を勝ち取ったといふべきだ。また、六日間の合宿生活で選手たちが精神的にもひと回り大きくなった。これが今後の学校生活・サッカー人生に良い結果を与えるだろう。」

最高の気分

佐藤博幸キャプテン

「グループリーグ戦で足をけがしてしまっただけ、気合で一日で治してプレーした。日頃の練習の成果が出て、選手全員が実力を出しきれたことが、全国3位につながったと思う。最高の気分です。」

全国空手道選手権大会で

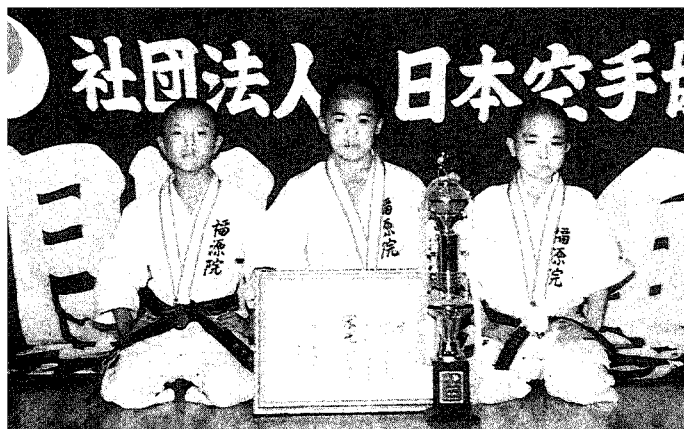
見事優勝!!

福源院クラブが小学校高学年形の部で

八月七日、八日の両日千葉県幕張メッセで行われた、社団法人日本空手協会主催による全国空手道選手権大会小・中・高生大会で、山梨県代表として参加した、都留市大幡の福源院クラブが小学校高学年団体形の部で、見事全国優勝を成し遂げました。

また、個人の部では、形、組手とも準優勝、第三位、ベスト8に多数勝ち残りました。

佐藤泰道館長は「礼儀を重んじ人格の完成を目指すという今までの練習方針が間違いではなかった。今後この精神のもと、社会に役立つ心やさしい子供達を育てて行くことを第一とし、その結果として今回のような成績につながれば指導者としてこの上ない喜びです。」と語っていました。入賞者は次のとおりです。



左より高部、伊藤、武井くん

同 五年 高部和伸

小学校五年形の部

準優勝 宝小学校 武井和彦

小学校三年(組手の部)

第三位 宝小学校 武井千春

中学校二年(形の部)

第三位 都留第二中学校

岩村健史

小学校高学年団体(形の部)
優勝 宝小学校六年 伊藤友騎
同 五年 武井和彦